



日本現象学・社会科学会
第35回大会

シンポジウム
震災以後の東北を生きる
—その経験を記述するということ—

司会：佐藤 静（大阪樟蔭女子大学）
提題者：山内 明美（宮城教育大学）
渡部 純（福島県立高校教員）
郭 基煥（東北学院大学）
特定質問者：松本 行真（東北大学）

（一般報告）

ラインハルト・コゼレックにおける歴史的人間学

遠藤 健樹（東北大学大学院）

二人称的な他者に関するフッサールとシュッツの思想の比較

鈴木 崇志（立命館大学/日本学術振興会）

アドルノと他者経験

青柳 雅文（立命館大学）

技術と自然—ハイデガーの技術論

安田 悠介（東北大学大学院）

「第三者の審級」論の由来と行方

木村 史人（立正大学）

技術的媒介と想像力—ポスト現象学における想像力の位置づけ

古賀 高雄（神戸大学大学院）

法感情の現象学

横山 陸（日本学術振興会）

町があるとはどういう状態なのか—震災経験が伝える死を出発点にして

奥堀 亜紀子（大阪大学/日本学術振興会）

2018年11月24日（土）10時～18時

於：東北大学 片平キャンパス さくらホール

<http://www.jspss.org/>

